学校番号	T3011

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	（学）木工基礎実習	単位数	１単位	年次	１～４年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

木材加工による自作の椅子の製作という課題を設定し、問題解決を図る学習活動を通して専門的な知識と技術の深化・総合化を図る。また、問題解決能力や自発的・創造的な学習態度を育てる。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
木工に関する技術を実際の作業に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
工業の木工分野の技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
工業の木工分野に関する技術の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	作業上の安全作業について充分留意する。作した図面をもとに精確な加工を進め、組み立て時の精度に与える影響について理解する。	作品製作の過程において安全、能率、材料の有効活用などの作業を考え判断しながら実行する力をつける。自由な発想と機能的なデザインを発表する力を育む。	各自が自作の椅子を比較することによりデザインついても興味を持つ。作業への積極性。作品を製作するだけではなく人が利用し、どのように感じるかを考えて製作する。製作過程で利用者の気持ちになることができる人間性を育てる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第一回　基本説明	木工加工の基本の説明 安全作業 服装 実習態度 工具や道具の説明 ケガキ 切断 組み立て 木材の説明 2×4材 1×4材	a:完全作業・工具等・木材について理解する。 b:工具や木材についてどのような場所に使われているかなど考えられる。 c:工具や木材について関心を持っている。	授業においての反応	授業に置いての意見	授業においての態度
	第二・三回　計測・ケガキ	見本のミニベンチの測定 材質を確認 部品の数を確認 寸法を確認 材料のケガキ 材料の確認 寸法どり	a:きっちりと測定とケガキができている b:計測とケガキを無駄なく効率的に行えている c:計測とケガキを積極的・真剣に行っている。	授業においての作業	授業に置いての意見・効率	授業においての態度
	第四・五　材料切断	材料切断 丸のこによる切断 面及び角加工 表面研磨 角落とし	a:材料の切断加工等ができている b:材料の切断加工を無駄なく効率的に行えている。 c:材料の切断加工などを積極的・真剣に行っている	授業においての作業	授業に置いての意見・効率	授業においての態度
	第六・七回　組み立て作業	組み立て ドリルドライバーの操作方法 ねじの説明 組み立て手順説明 直角の出し方 安定のさせ方 説明をもとに組み立て	a:組み立て作業ができている。 b:組み立て作業を無駄なく効率的に行えている。 c:組み立て作業を積極的・真剣に行っている。	授業においての作業	授業に置いての意見・効率	授業においての態度
	第八回　塗装	塗装 塗装における注意点 他に塗料が飛び散る 塗装の段取り 敷物を準備 塗装する	a:塗装作業ができている。 b:塗装作業に手を抜かずきっちりと行っている。 c:塗装作業を積極的・真剣に行っている。	授業においての作業	授業に置いての意見・堅実	授業においての態度

	第九回　総括	総括・まとめ 完成品を最終チェック 安定性 ひずみ 塗装むら 修正 まとめのレポート 行程・完成図・感想	a:チェックや修正ができた。工程や完成図がかけている。 b:独自の厳しいチャックや完璧な修正が行えた。工程や完成図に何らかの工夫がなされていた。 c:積極的に作業が行えていた。感想内容が積極的であった。	授業においての反応・レポート	授業に置いての意見・レポート	授業においての態度・感想

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度